

歴史を受け継ぐ
優雅なひとときを...

Classic The Luxury 1879

時間を忘れる旅

時代を超えて語り継がれる王朝の間で過ごす
"Classic The Luxury 1879"
明治から現在へ紡がれたその歴史は
それぞれの時代の物語が刻まれております。
心のおもてなしを
賓客の方々へお届けいたします。



明治、大正の香り漂う本館 王朝の間



王朝の間へ向かう旅路は本店正面玄関から階段に辿り着くと、ティファニーが造り上げたステンドグラスが賓客の方々を迎えております。
歴史の光を映し出す芸術品は食卓と3人の乙女たちが彩られており、テーブル上にワイングラス、葡萄や洋梨、スイカ、皿の上のレモンを添えた魚料理、ほかにミカンやパイナップルを象っております。

そして「王朝の間」へ到着すると特別な空間が広がります。

壁は高い腰壁とオーガメイトで仕立てた布張りの壁で構成され、葉飾りの装飾をつけた漆喰の回り縁が広い空間を引き締めております。三つの中心飾りから下がるシャンデリアは水晶をつないだものといわれ、上品な輝きを呈しています。わずかにカーブした天井は樺太のソンドラを建材として使用した貴重なつくりで、音響効果もあり機材のなかった当時の時代設計がさかべれたことを映し出されています。

みなさまを特別な旅へお連れいたします...



函館五島軒

since 1879

TEL. 0138-23-1106

[お問合わせ/11:00~20:00]

函館市末広町4-5

※表示価格はすべて税込です。
※写真はイメージです。

Classic The Luxury 1879



昭和のメモリアル フルコース 1926~1989 ¥25,000(税込)

代々受け継がれる技術と味。こだわりの食材の粋をたのしむフルコース。

- ◆ズワイガニのガトー仕立て
- ◆スイーツコーンポターージュ
- ◆鯛と帆立貝のムニエル ヴァンプランソース
- ◆牛舌シチュー五島軒風
- ◆シャーベット
- ◆牛フィレロースト デイジョン風温野菜添え
- ◆パン
- ◆野菜サラダ
- ◆本日のデザート
- ◆珈琲

大正のメモリアル フルコース 1912~1926 ¥35,000(税込)

長く愛されてきた王道のフルコース。想いを受け継ぐヒトサラを。

- ◆大海老冷製トリュフ飾りキャビア添え
- ◆コンソメスープ
- ◆函館近海産鮑のクリーム煮
- ◆合鴨ロースト オレンジソース
- ◆シャーベット
- ◆牛フィレポワレ ヘリゲソース 温野菜添え
- ◆パン
- ◆本日のデザート
- ◆珈琲

明治のメモリアル フルコース 1868~1912 ¥45,000(税込)

道産地元食材を厳選し、北海道の旬に合わせたメニューをご提供いたします。晚餐の席でおしながきを開く特別のフルコース。

《 Welcome Drink 》	おもてなしの一杯
《 Entree 冷菜 》	饗宴のプレリユード
《 Soupe スープ 》	心あたためるヒトサラ
《 Poisson 魚料理2品 》	贅を尽くす北海の幸の宴
《 Viande 肉料理2品 》	大地に育まれた恵と老舗の技のマリアージュ
《 Curry カレー 》	五島軒謹製鴨カレー
《 Dessert デザート 》	道南をテーマにしたフィナーレ
《 Cafe or Tea 》	じっくり焙煎の珈琲または五島軒特製ブレンド紅茶

※写真はイメージです。

全コース 飲み放題付き

10~50名様

※仕入れ状況により予告なくメニューが変更になる場合がございます。

※表示価格はサービス料が含まれた税込価格です。

飲み放題メニュー

- ◆生ビール(キリン一番搾り)
- ◆ウイスキー ◆焼酎 ◆日本酒
- ◆北海道産ワイン(はこだてわいんetc)
- ◆スパークリングワイン
- ◆ノンアルコールビール
- ◆プレミアムフルーツジュース
- ◆ウーロン茶 ◆コーラ
- ◆ジンジャーエール etc



北海道で最も歴史ある西洋料理店。

五島軒は初代・若山惣太郎と長崎五島列島出身の初代料理長・五島英吉が、各々江戸と長崎を経て、当時国際貿易港であった函館で出会い、二人で在留外国人や外国船にパンや西洋料理を納める小さなレストランを開業した事から始まりました。二代目若山徳次郎は東京の帝国ホテルで料理修行の後、大正6年にオーナーシェフとなり、現在の五島軒のフランス料理と洋食の礎を築きました。



昭和35年竣工

本店内の調度品

五島軒本店には、舟越保武、桂、羽生輝の他、田辺三重松、岩船修三など函館ゆかりの絵画、彫刻と、古地図や版画等を展示しております。



五島軒本店は
国登録有形文化財指定建物として登録されています。

五島軒本店旧館は、1989年に函館市の「景観形成指定建築物」となり、1997年には「登録文化財制度」に基づき、北海道初の登録有形文化財(札幌市資料館と共に)登録されました。